

自由が丘パネル・トーク

国際交流・共生と自由が丘

シリーズ共通の趣旨:

- 講演会？(パネルディスカッション、)
- 参加者の過半がパネリスト
- 協会員・地元人が企画・MC
- 企画準備会を重要視する
- フランステーマとは限らない
- 開かれた日仏協会を目指す

準備会で挙げたこれからのテーマ事例

- 日仏・映画と社会の比較
- フランス語圏のアフリカ
- 日仏国民性の比較論
- オリンピック2020と自由が丘
- シャンソンとフランス人気質……
- フランスとEUの経済・社会
- フランスの新聞から見る社会
- エッフェルと宇宙エレベータ
- 自由が丘商業とフランス

自由が丘日仏協会第1回パネル・トーク

テーマ：自由が丘・東京・パリの街並み

2016/12/6 あおぞら銀行フィナンシャルオフィス自由が丘 **パネル一部**

I - ② 自由が丘の街並み 国交省都市景観大賞受賞に見る



歩行空間を広げてバリアフリー化をはかった駅前広場。シンボルである女神像は移設し、広場内に設置している。



南口緑道(九品仏川緑道)。自転車を追い出すベンチ配置実験から広場化に至った。現在は、集い・憩いの場として多くの方に利用されている。また、通りに開く店構えが増えてきている。

2012年都市景観大賞を受賞

普通は計画的な景観整備のオールド・フック的な例や伝統的な街並の保存・修復例が多い中で、地元の継続的努力が認められている。

自由が丘中心部の多くは歩道のなく広告物と老朽建物も多い、普通の街である。
奨励賞の意味も？

第2回自由が丘パネルトーク

●日時：4月6日(木) 開場16:30 会議・懇談 17:00~19:30

●場所：あおぞら銀行フィナンシャル自由が丘

●テーマ：国際交流・共生と自由が丘

国際社会が「グローバリズム、国益主義、EU危機、移民問題・・・」で揺れる中、東京オリンピック・パラリンピックを契機に海外3000万観光客を迎えようとする日本はどう向き合うか、また地域(自由が丘、目黒、東急沿線)は其々の特色を生かしてどういう対応するのか・・・というテーマで話し合います。

○第1部：報告／ ①多文化共生推進と目黒 (MIFA事務局長：石綿 晃)
②EUや日本の国際交流・共生の現状と意識調査報告 (日仏協会：石川 忠)

- 第2部：パネルトーク／2020に向けた国際交流と自由が丘
問題提起とモデレータ／
 - ・武内千草(産業能率大学教授)
 - ・中平信也(フランス語情報センター)
- 自由が丘の商業者、住民、学生、日仏協会員及び一般参加者のみなさんも討論に加わって下さい。
- 話題事例：
 - ①オリパラを目標に自由が丘独自の「おもてなし」の考え方、イベント・事業アイデア・・・
 - ②国際交流に関して、地域と大学、事業者・団体、日仏協会等の連携について・・・

報告 II) 欧州連合(EU)や日本の国際交流・共生の現状・意識調査のまとめ

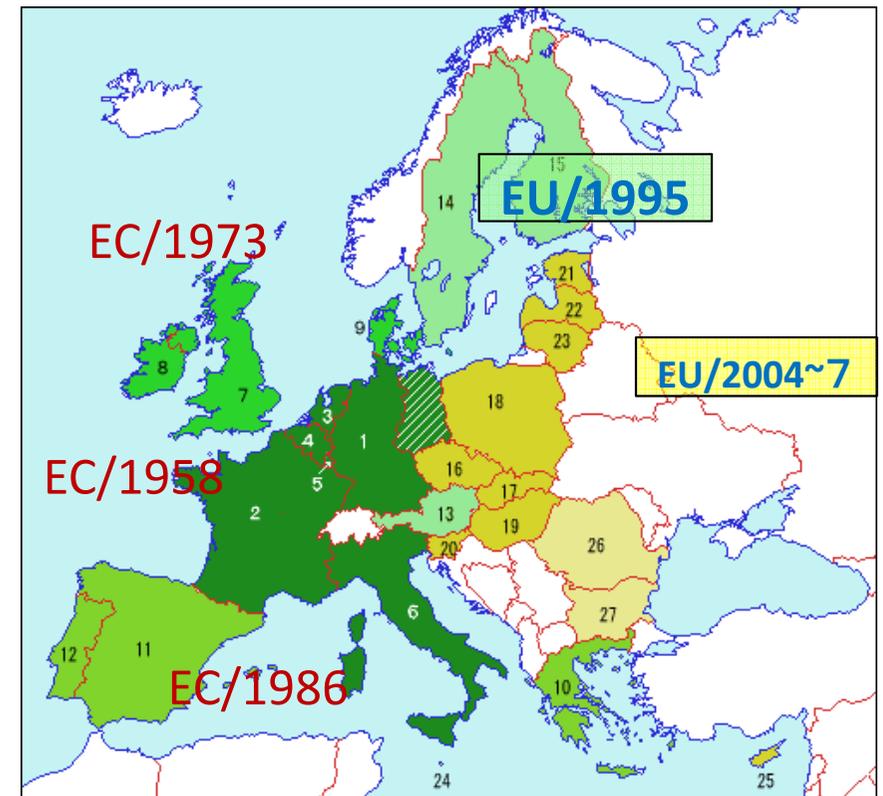


- 1.ヨーロッパ 共生社会のはじまり
- 3.世界の国際居住現状と必要度

- 2.日本から見た国際移動
- 4.各国民の意識調査

1. EU共生社会 (ヨーロッパ居住体験)

- ・1970年代、旅行～現地就労～出産～育児を経験する。EC(欧州共同体)6カ国時代で国境、各国通貨は存在。当時はフランスの社会の他国民に対する寛容を感じる。(国民性・歴史)
- ・フランスは20世紀前半で周辺国より早く人口減少が始まり、50年代から国家政策として外国人定住策を進めていた。
- ・70年代日本で高齢者社会への政策が始まる中、外国人を含めた若者層に育児等の社会保障が手厚かった印象。(家族、育児、外国人居住の政策)
- ・職場は多くの外国人(ユゴ、西アフリカ、イタリア等からの定住者、東欧・ユダヤ系の2世等の建築家、ドラフトマン)の集団。(経済的共生) 国際結婚も目立つ
- ・他国文化支援活動は独特。(制度として同国人扱いという印象) 互いの国民性を茶化すこともあったが、自然に受け入れている感じ。出身国による職業的階層は存在。(文化的共生)
- ・この間、EC拡大を契機に地続き国境の出入国が自由になる。各国で他国車・他国ナンバーが多くなり、他国製品が出回る。(国境の廃止、EU間の協力と競争が混在)
- ・70年代後半から、フランスでは以前に比べ、外国人労働の規制は厳しくなる。(大都市郊外の荒廃や治安が現因?)
- ・この後、EUとして連邦化を目指すも、域内競争と国民意識復活、EU拡大による諸問題等でブレーキがかかっている。(EUは20年で拡大を急ぎ、団結力を失いつつある? <Brexit>)



2 日本から見た国際移動 (旅行や居住)

旅行 ●行く日本人:年**1800万人**
 中・米・韓・香港・台・タイが圧倒的
 その他25~70万人が欧・豪・加8国、亜5国に行く。

●来る他国人:年**2000万人**

同様に韓・台・中・米・香港・タイの順
 その他10国から10~30万人が来る。

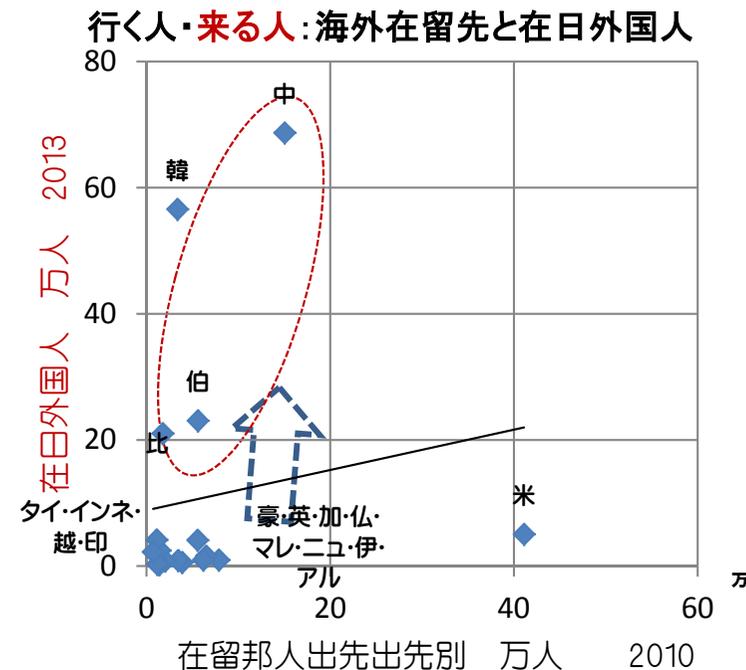
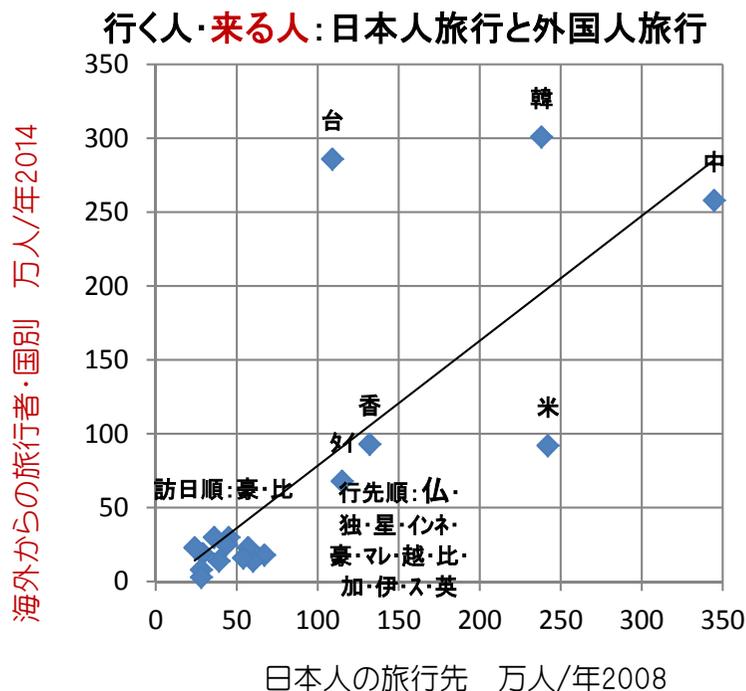
バランス:韓・台・中・香港・タイ以外は行く人の方が多い
 動向:観光赤字? から2020に向けて**流入者**が増加見込。

? 日本にいる他国人で旅行者と居住者(1年以上)ではどちらが多いのか? $2000/35$ (10日滞在仮定) < 220

在留(海外移住)

●行って住む人:**130万人**(2015)、経験者140万
 米40万、中15万以下、豪・英・加・伯・タイ・独・仏・韓の順
 上位10国でアジア3国、その他が7か国。

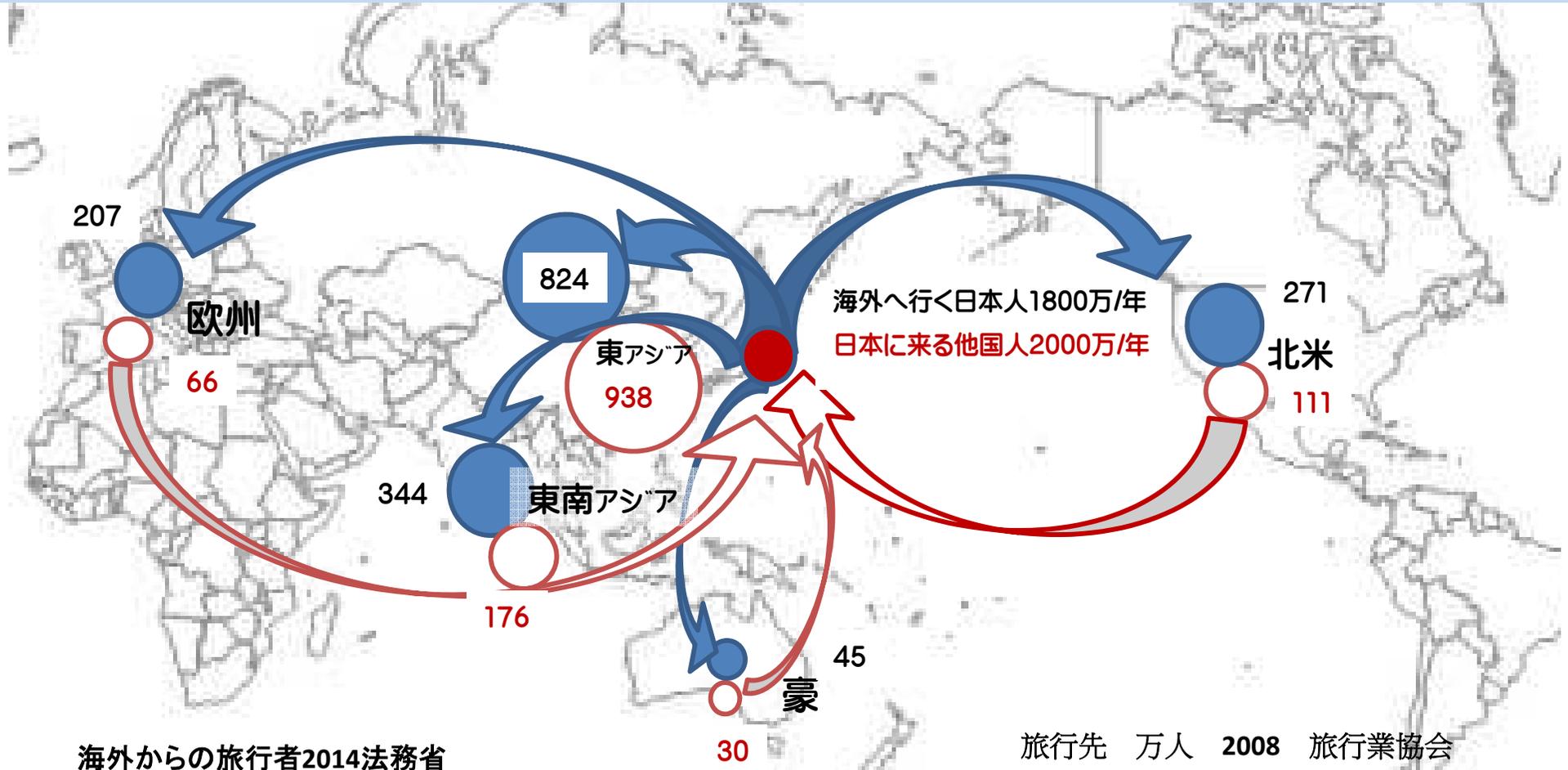
●来て住んでいる人:**220万人**
 中・韓で125万、伯・比で44万、その他50万



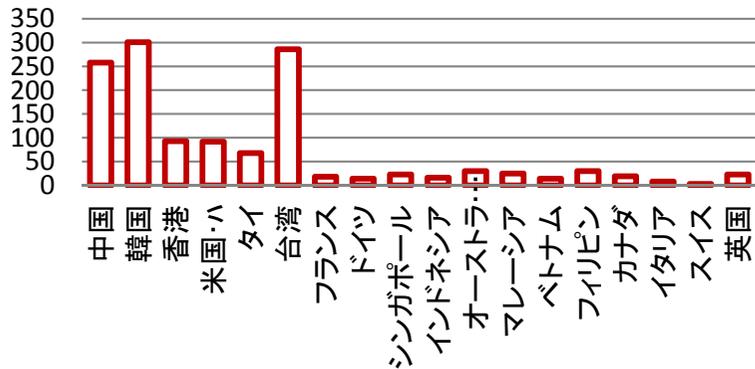
日本に近い国からより多く来て、日本人も沢山出かける。旅行も移住も増加傾向にある。

日本から見た国際移動（旅行）

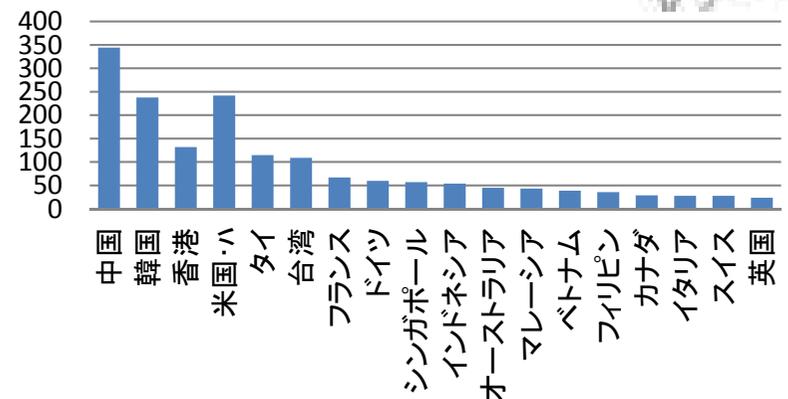
2-① 旅行：日本へ来る外国人・海外へ行く日本人（東アジア、東南アジア、北米、欧州、豪…）



海外からの旅行者2014法務省



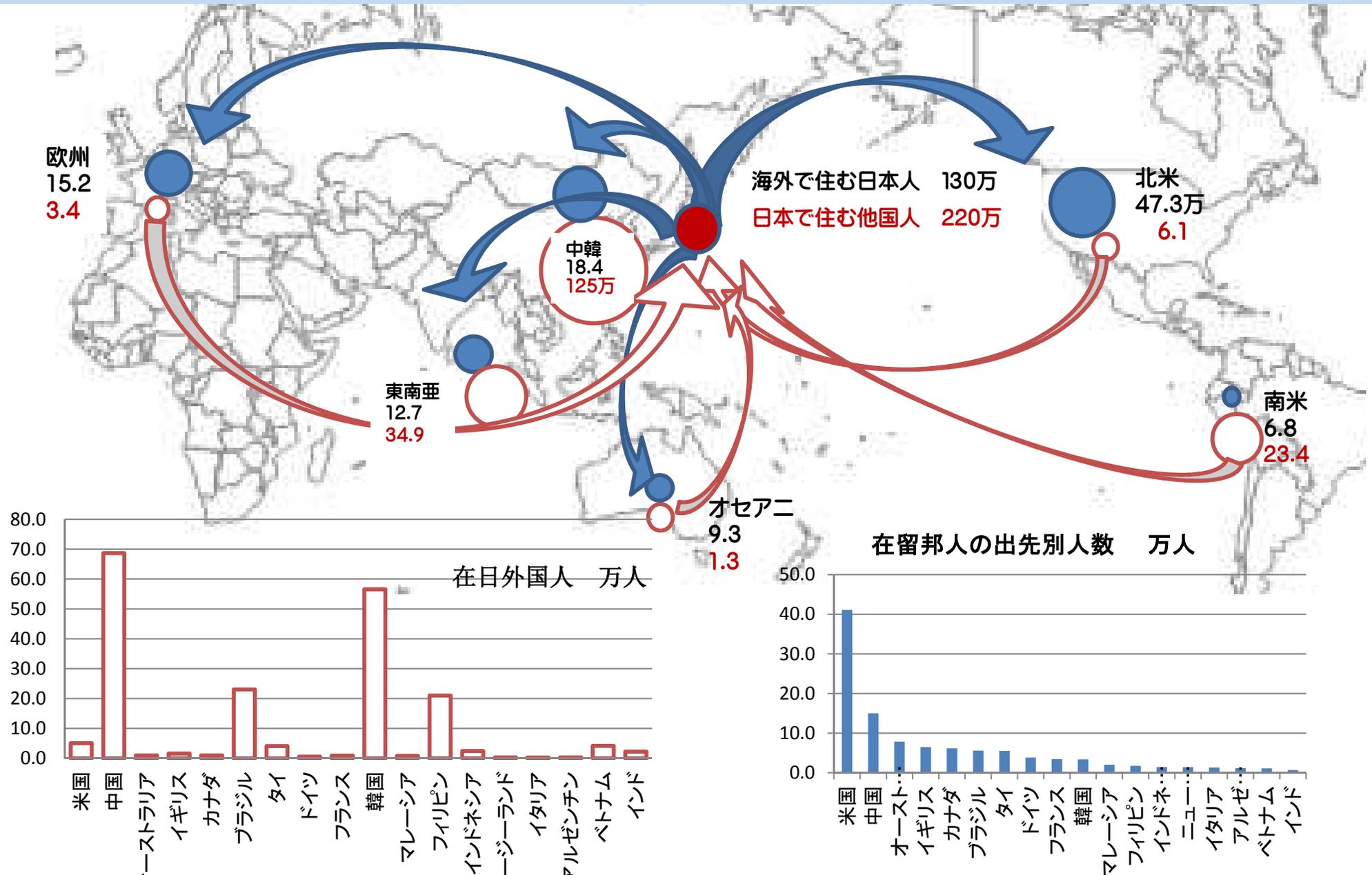
旅行先 万人 2008 旅行業協会



2. 日本から見た国際移動 (居住)

2-② 移住：日本で住む外国人(韓・中・アジア・南米…)

海外で住む日本人 (北米、中・欧・伯・アジア…)



3-① 世界各国の他国人旅行者と居住者

外国人定住の多くは旅行・訪問から始まる。

●2016年、全世界で国外旅行者数は≒**12億人/年**で、毎年3~5000万人ずつ増えている。(国連世界観光局)

他国人旅行者の多い国は**仏(8400万/年)**、米、西、中、伊……日(16位)

●2015年、全世界での外国生れ・外国籍居住人口は**1.2億人**。
1年以上の外国人居住者は**2.4億人(共に国連)**

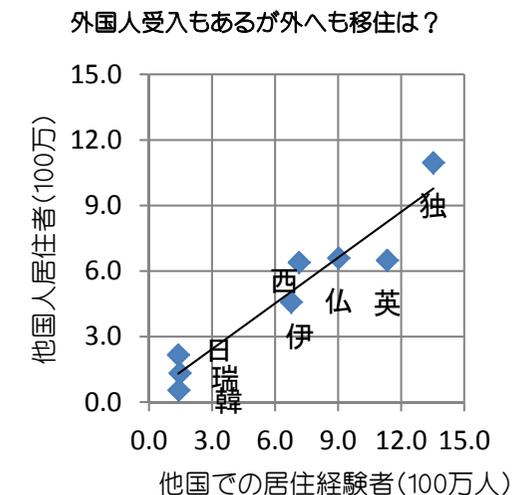
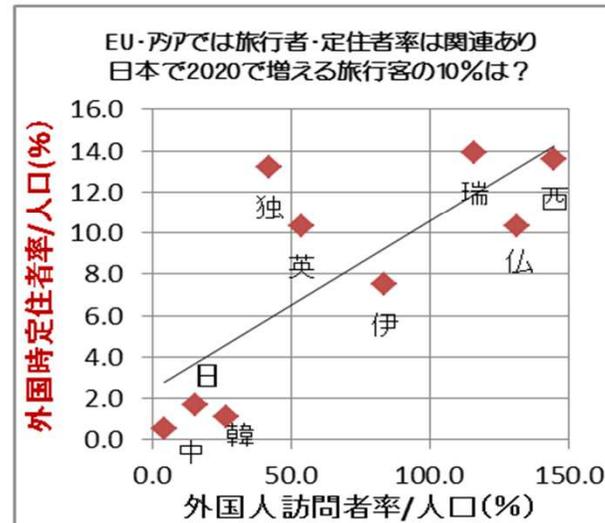
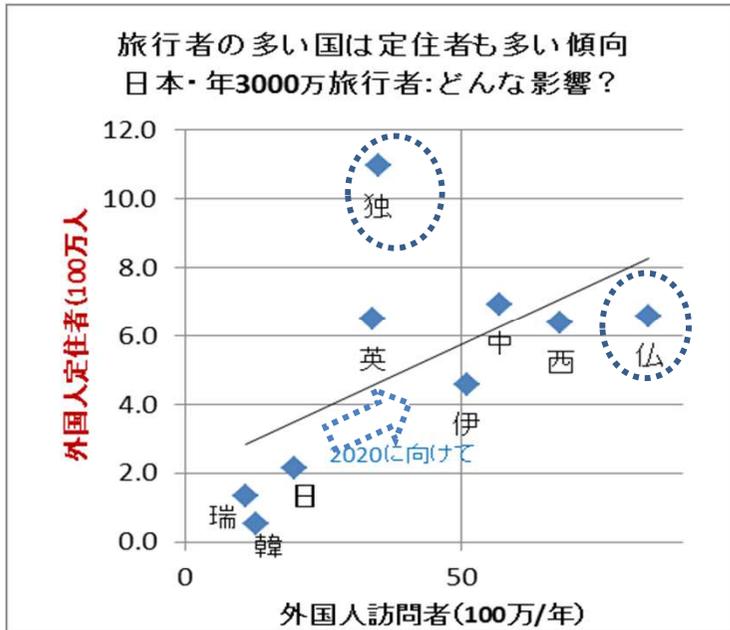
外国人居住者の多い国は米(4420万)、露、独、加、中、仏、英……日(13/15)

2)-②

外国人旅行者と定住者の関係

●旅行者と定住者

	外国人訪問者数 100万/年	定住外国人/ 人口 100万/2013	外国人訪問者/ 人口 %	定住外国人率 % 2010 UN	人口2013 100万
日本	20	2.2	15.7	1.7	127
フランス	84	6.6	131.3	10.3	64
ドイツ	35	11.0	42.2	13.2	83
イギリス	34	6.5	54.0	10.3	63
スペイン	68	6.4	144.7	13.6	47
イタリア	51	4.6	83.6	7.5	61
スウェーデン	11	1.3	115.8	13.9	10
韓国	13	0.5	26.5	1.1	49
中国	57	6.9	4.1	0.5	1385
アメリカ	78	44.2	24.4	13.8	320
オーストリア	28	1.3	333.3	15.6	8
カナダ	18	7.6	51.4	21.8	35
オーストラリア		4.9		21.4	23
ロシア	31	12.3	21.7	8.6	143
インド	8	5.6	0.6	0.5	1252



他国からの旅行者の多い国は、定住者も多い(サンプルがEU・アジア)

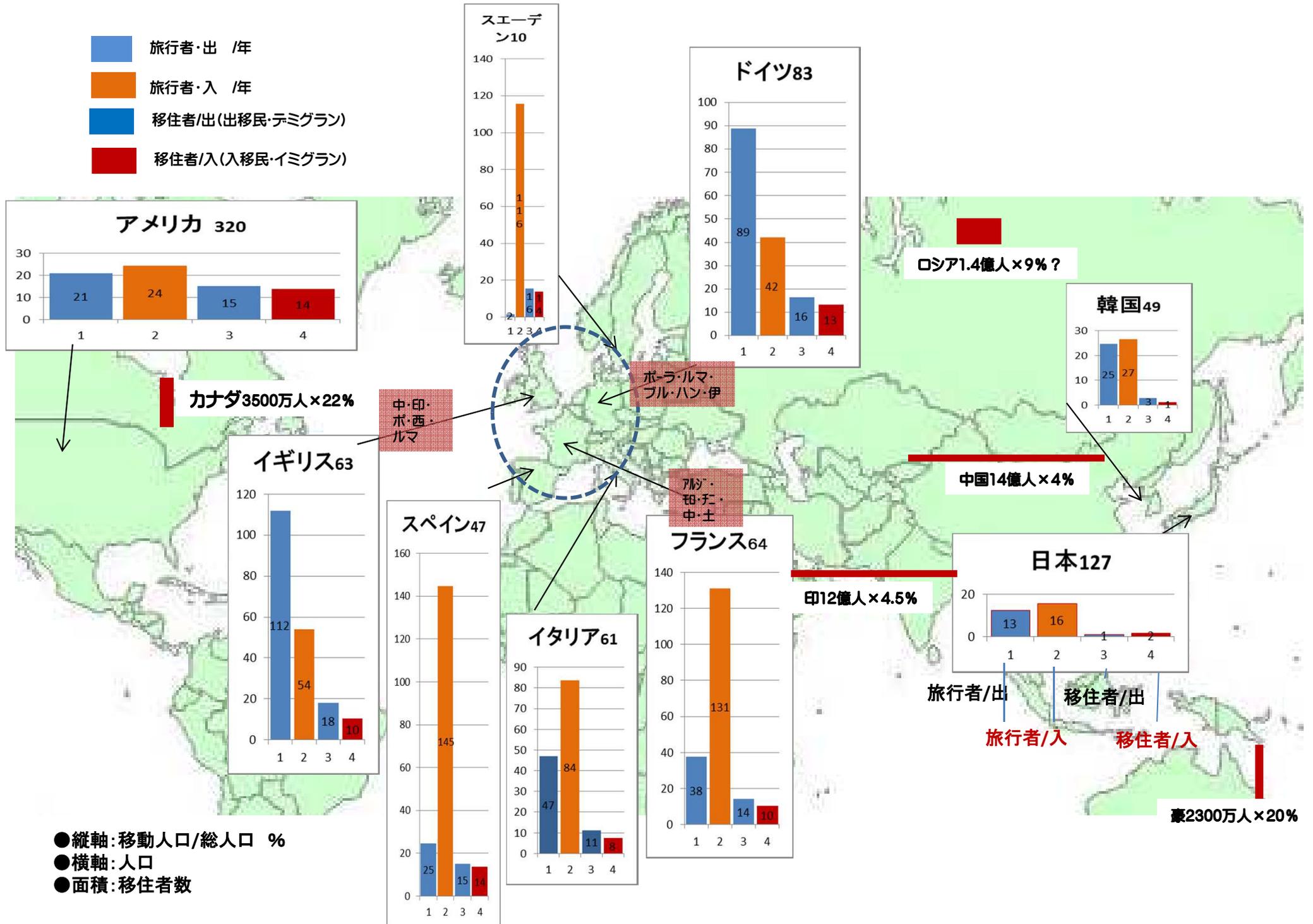
①EUで、旅行者はフランスへ、移民はドイツへ最も多く集まる。政策に関わらず日本での居住者は増えるだろう!

②外国へ行くことの多い国民はが他国人を受け入れる!

③他国での居住経験の多い国民は他国人を受け入れる!

3-② 世界各国の外国人旅行者と居住者（イメージ）

- 旅行者・出 /年
- 旅行者・入 /年
- 移住者/出(出移民・テミグラン)
- 移住者/入(入移民・イミグラン)



- 縦軸: 移動人口/総人口 %
- 横軸: 人口
- 面積: 移住者数

3-③ 国際居住者 (≧移民)は世界各国でどうなっているのか 多様な意見 と資料統計からの理解

移民受入れについての識者の意見

以下、4識者の意見(○印)はyahooニュース-2016/9より

- 「受け入れるなら差別無くせ」 小野 元埼玉大教授
移民として受け入れようという人材は、今の産業構造を維持するために必要な人たち(旧弊な産業温存)
- 「地域住民と融和するなんて、きれいごと」。 佐伯シンフォニアテクノロジー社長
生活習慣や言語が共通した移民たちで寄り集まる。文化的衝突が非常に多い。
- 「このままだと日本は小国になる」 小倉法政大教授
小国でもいいと割り切り、1人当たりの経済力を落とさないように努めるか、大国として、国内総生産と国際社会での存在感を維持するか？
- 「多文化で地域は活性化する」 田村NPO代表
欧州各国の90年代の移民政策は、移民に適切な支援とチャンスを与えなかった結果、格差と分断が生じ、経済的に困窮した人たちが犯罪やテロに走る温床になった。

以下、英ジャーナリストと米学者たちの見解

●難民や外国人労働者に用心深い日本国民 Julian Ryall(英 記者)

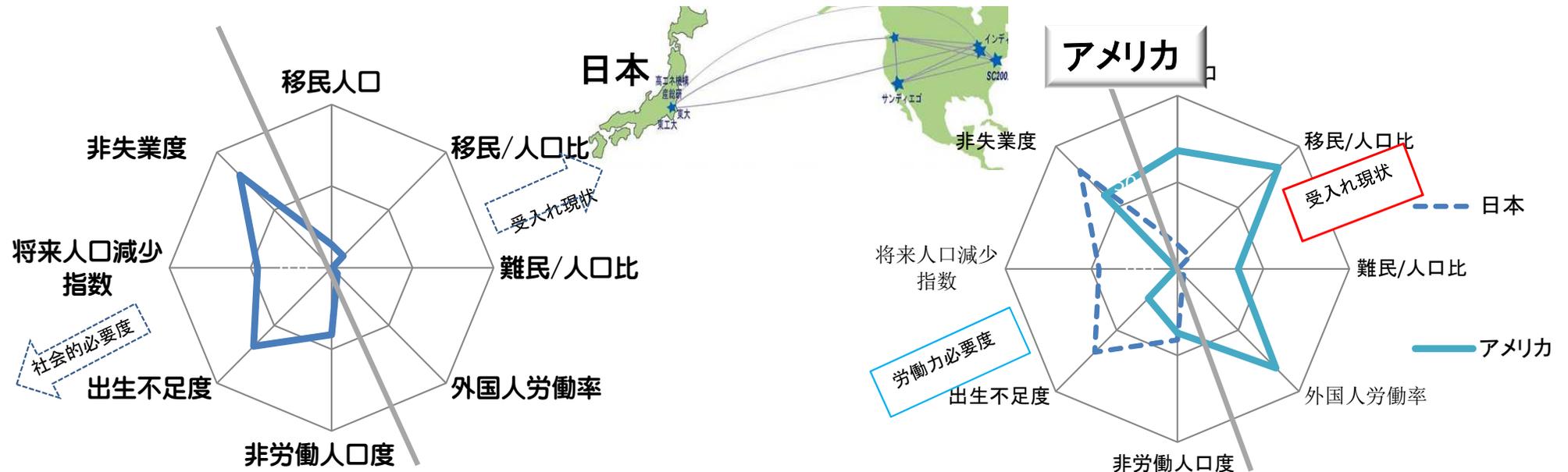
日本政府は出生率の低下や急速な人口高齢化という問題に国を挙げて取り組む必要があると考えているが、一般国民はいまなお外国から来る人々に用心深い。恥ずかしがり。

●「移民の経済学」 東洋経済 B.パウエル編 2016/11
国際移民で労働再分配を生み、50兆\$のGDPの成長を生んでいる。2005世界の国外労働者送金は途上国援助額の3倍で、国際格差を埋める要素。米での自国労働者の賃金上昇・技能向上は移民に起因。貧困・不平等は縮小、可視化に寄与。移民の犯罪・生活保護は米人より少。政府負担以外はプラス要因。国境開放論はキリスト教とリベラリズムに起因。(経済と無関係)

識者・マスコミの諸説は最近のアンケート等での意見対立に現れている。

④ 主にEU各国の他国人定住者受入現状と社会的要請

レーザ・グラフで見る

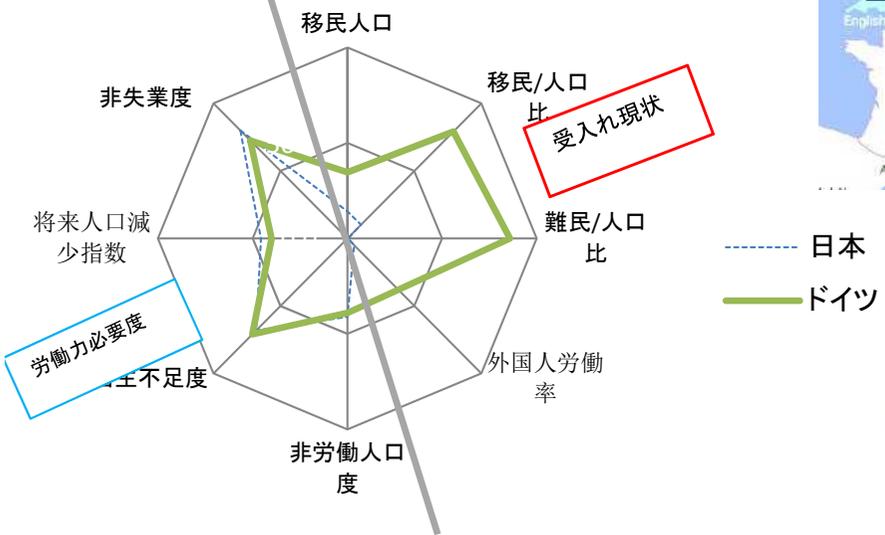


アメリカ:元来移民の国!更に増やす必要はないのか?

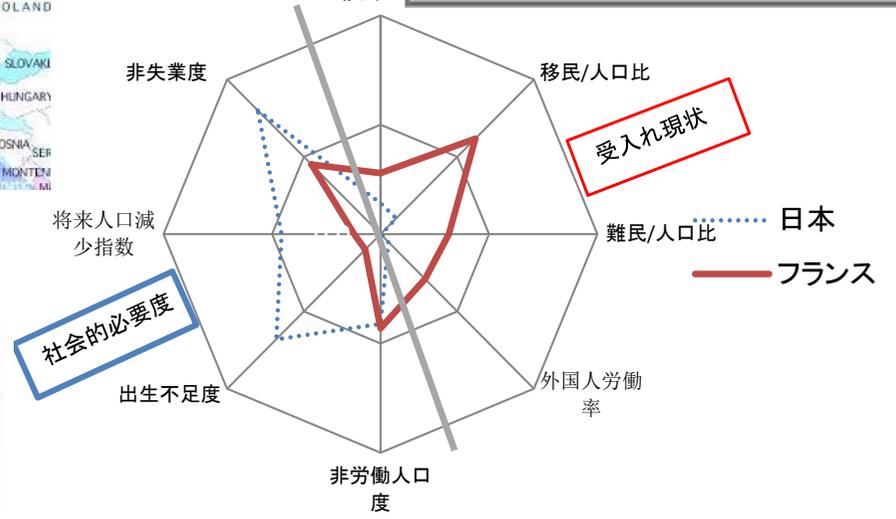
日本の受入れは非常に少ないが、必要性は高い。

3-⑤ EU主要3国の移民現状と必要性

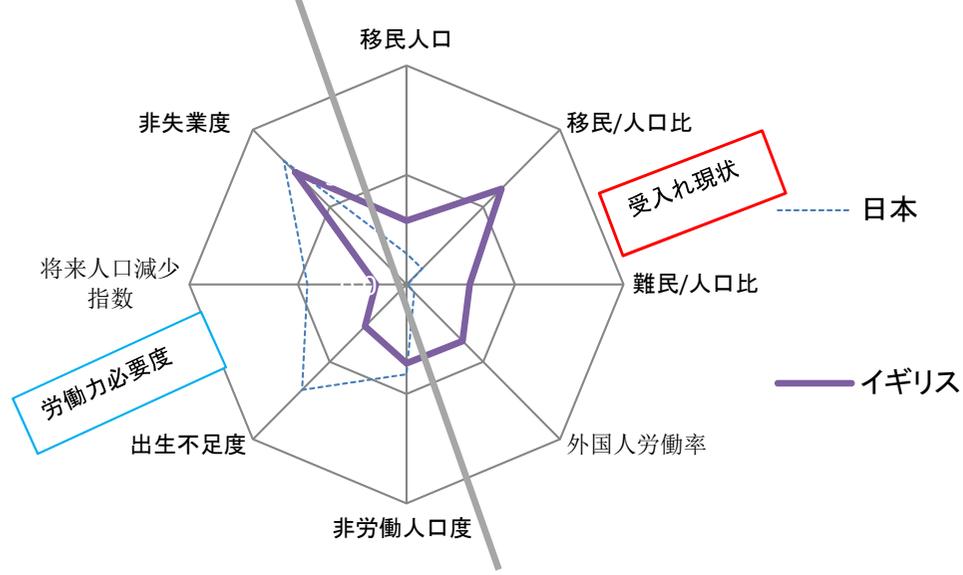
定住外国人現状と必要性(ドイツ)



定住外国人現状と必要性(フランス)



定住外国人現状と必要性(イギリス)



●移民問題背景(移民数、労働力)								
移民(外国人居住者)・難民現況 統計					労働力不足(国力)の要素(-)			
日本・EU・米 等	移民人口 百万人 2015 世界 2.43億 *1	移民人口 / 国民 2010	受入難民 2011 国際日本データ 明大 万人 世界6000万	外国人労働力割合	労働力率 2013 OECD*4 労働 供給/高齢・女性就 業	出生率 2015 将 来の労働力	人口増予測 2010-50 国連 /趨勢+移民+育 児政策	失業率 2016
	移民人口	移民率	難民	外交人労働	労働力人口比率	出生率	将来人口増	失業率
日本	2.0	1.7	0.3	1.0	0.59	1.42	-0.2	4.0
フランス	7.8	10.3	21.0	5.8	0.57	2.00	0.2	11.0
ドイツ	12.0	13.2	57.2	7.6	0.61	1.39	-0.1	5.5
イギリス	8.5	10.3	19.4	7.3	0.64	1.83	0.2	5.5
アメリカ	46.6	13.8	23.5	16.2	0.63	1.86	0.3	8.0

注1: 移民定義: 国連統計/12か月以上の外国人居住者
 注2: 就業率= 就業者/15-64歳人口 OECD
 注3: 労働参加率= (就業者+失業者)/15-64才人口
 注4: 労働力率= (就業者+失業者)/15才以上人口

4-①

E U 各国の他国人定住に対する意識調査

元データ Internatinal Social Survey Programme 2013

訳・紹介：(明治大鈴木研編集「国際データランキング 2013,2014」)

世界各国での種々の意識調査(33カ国/客観統計は更に多い)をまと

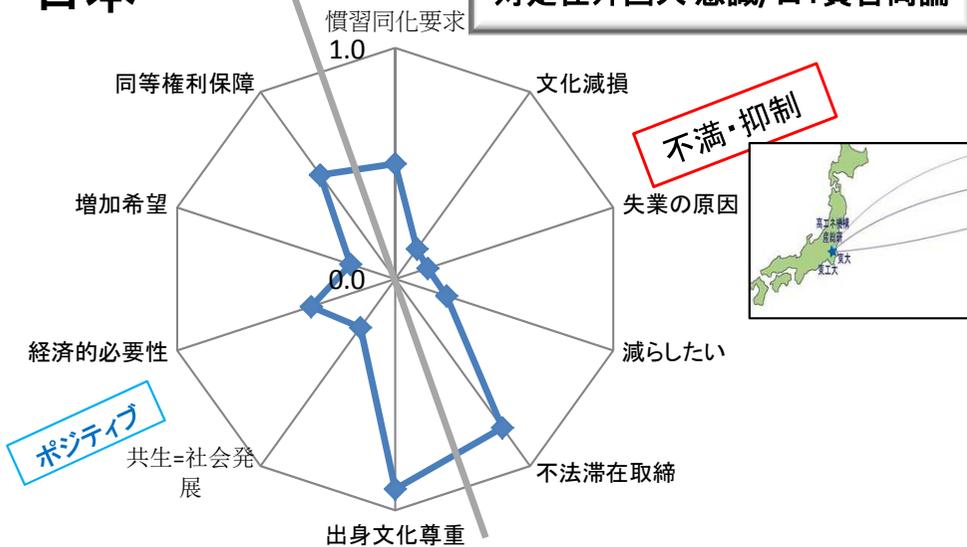
項目(グラフ)	下記の意見の人の割合(グラフでは1.0は100%)
慣習同化要求	自国民になるには慣習伝統を習得すべし
文化減損	自国文化が外国人に徐々に損なわれている
失業の原因	外国人移民は自国民の仕事を奪っている
減らしたい	定住外国人は減った方が良い
不法滞在取締	不法滞在は国外退去取締を
出身文化尊重	複数民族がいる時、各々の慣習伝統を守るべし
共生=社会発展	新しい考え・文化をもたらし社会を発展させる
経済的必要性	外国人移民は自国経済に役立っている
増加希望	定住外国人は増えた方が良い
同等権利保障	合法的移民は自国民と同等権利持ちべし

4-

赤ネガティブ 黒:ポジティブ	定住外国人は増えた方が良い	定住外国人は減った方が良い	自国で最重要は「移民問題」2010	外国人移民は自国経済に役立っている	外国人移民は自国民の仕事を奪っている	自国民になるには慣習伝統を習得	複数民族がいる時、各々の慣習伝統を守るべし	自国文化が外国人に徐々に損なわれている	合法的移民は自国民と同等権利持ちべし	合法的移民は自国民と同等義務教育が良い	不法滞在は国外退去取締を	ある民族に偏見をもつ市民集会を認めるべき
日本	20.5	23.5	0.5	38.6	14.9	49.9	90.8	16.1	55.7	82.2	79.5	6.4
アメリカ	14.1	43.6	3.9	54.2	35.8	28.9	44.5	18.2	37.2	83.9	60.5	40.1
フランス	5.6	71.5	7.0	33.8	29.1	60.1	27.3	37.3	35.3	87.6	66.4	17.8
ドイツ	12.7	50.1	3.1	50.3	22.9	51.3	40.7	29.6	51.5	90.6	63.4	12.3
イギリス	4.0	79.9	15.4	31.2	52.4	54.3	17.1	43.1	25.2	61.4	84.2	21.2
スウェーデン	12.3	60.0	8.5	49.2	13.3	44.6	18.9	25.6	38.4	89.5	54.3	37.7
	日本は変わった	英離脱は始まっていた	自国Firstとの闘い	日本はこれから	同化政策				不履行は日本			トランプ支持層はこの時点では?

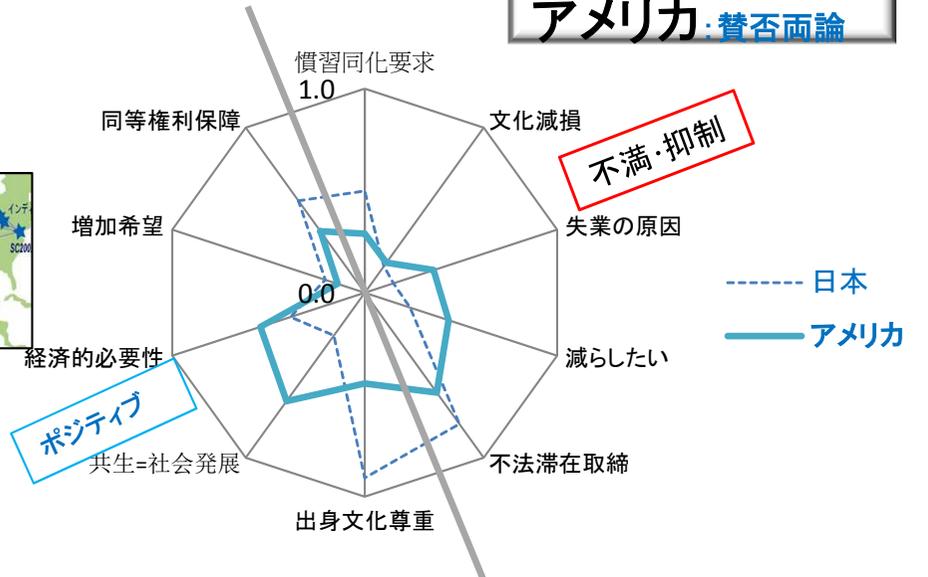
日本

対定住外国人意識/日:賛否両論



日本人の意識は 賛否相半ば。経験が浅く認識が薄い? この時点では寛容?

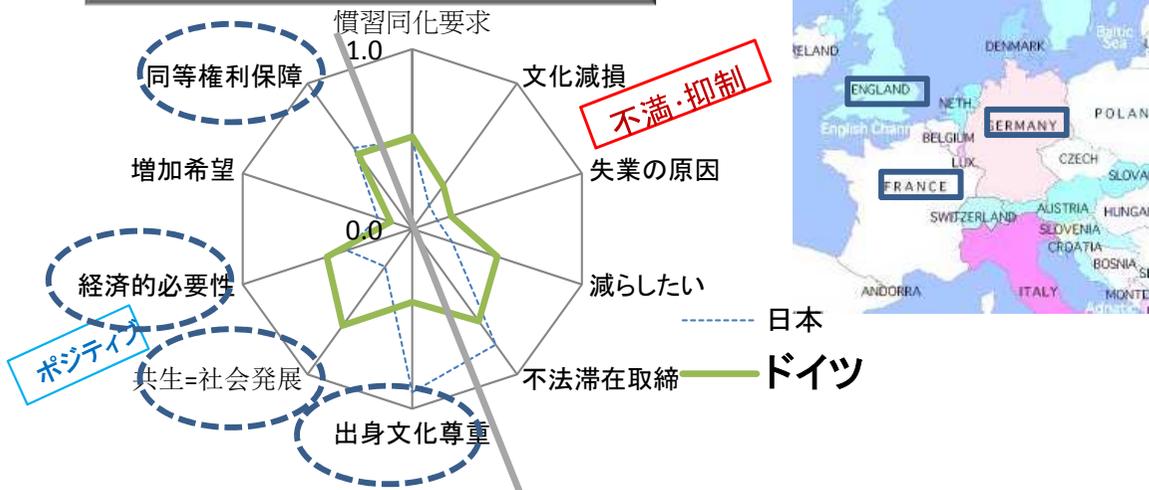
アメリカ:賛否両論



不満が具体的。もう十分という感じ。アメリカ建国の理想も残っている感じ?

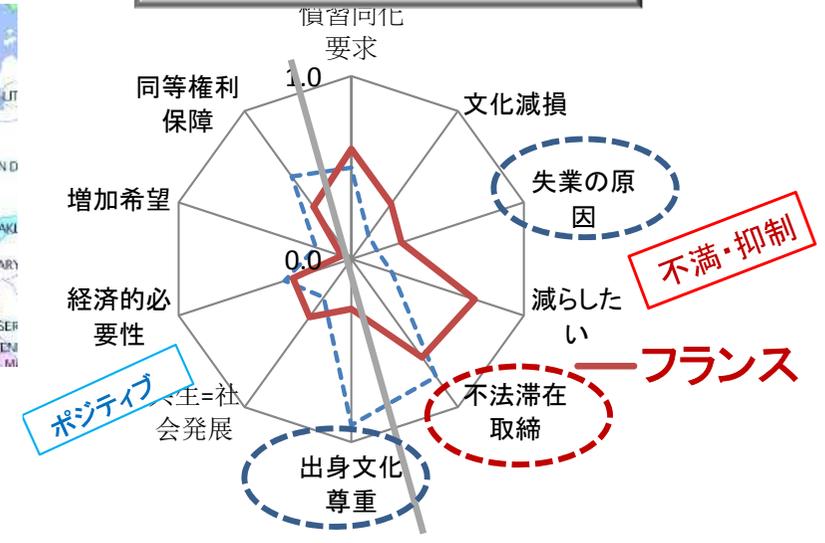
4-② EU各国の他国人定住者に対する意識調査

対定住外国人意識/独: ややポジティブ



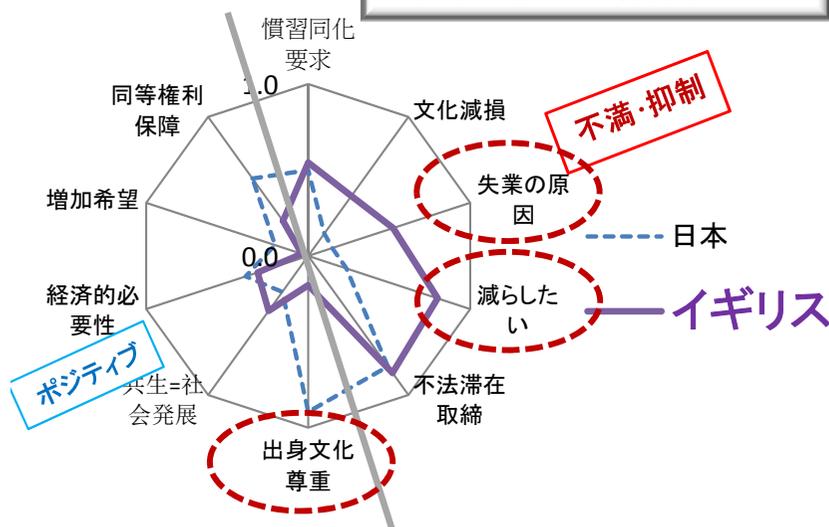
EUの中では日本に近い。教育機会同等や同化を求めることは既知。

対定住外国人意識/仏: やや不満



日本に比べネガティブといえる。教育機会同等や同化を求めることは既知。

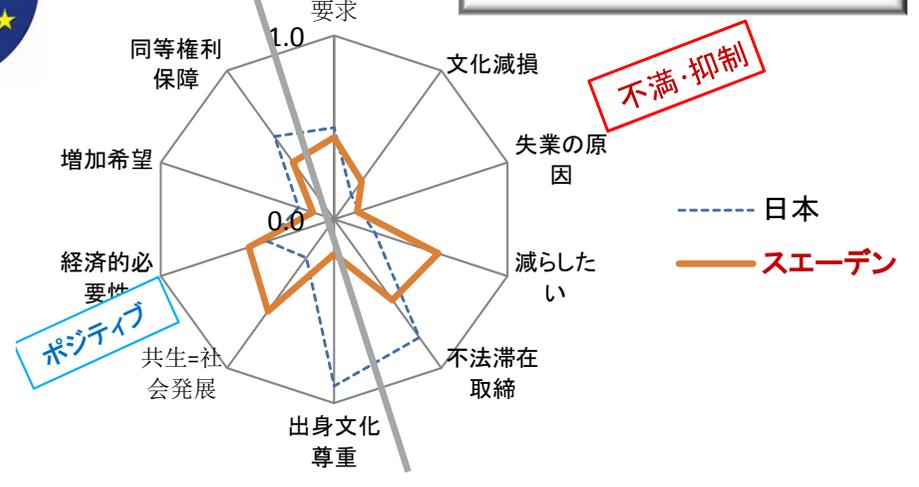
対定住外国人意識/英: 不満



移民問題が最も深刻(過半が拒否に近い)。日本は認識が薄く寛容でいられ



対定住外国人意識/瑞



スウェーデン: 仏独に似た意識構造? 経済的必要性はあるが人口の割に充分で減ら

この時点でフランス国民の不満は日米より強い。(大統領選挙) EU域内結束の前に各国内での分裂を克服すべき正念場?

●このレーザ・グラフは自身の理解を整理するためにつくりました。みなさんのグループで試してみてください。(熱い討論の前に !!)



MIFA 多文化共生推進

マリクレール祭

自由が丘振組・国際親善神輿

来日旅行者へのサービス

在留外国人の交流・支援・サービス

海外情報紹介
紹介・教育

主に国内で



居住・労働

MIFA等
多文化共生

地域・商店街

旅行・観光商業・仕事

日仏協会

大学
研究機関

情報・交流・普及



街角コンサート・日仏協会

主に海外で

海外での居住・活動・労働・進出

日本からの情報発信

個人・企業

海外旅行・来訪



ベタンククラブ・日仏協会



EU・仏についてのパネルトーク・協会



モンマルトル収穫祭パレード：日仏協会員



仏大使館からの表彰・日仏協会